［様式第２号の作成方法］

1　第６学年の第２学期末現在で記入する。（ただし，２学期制の小学校にあっては第６学年の 12 月末現在で記入する。）

なお，第５学年及び第６学年の期間の全部において外国の学校（文部科学大臣の認定を受けた在外教育施設を除く。以下同じ。）に在籍する志願者は，調査書に替え，外国の学校における成績証明書を提出する。

2　番号欄には，各学級の出席簿どおりの名列番号を記入する。ただし，男女別々になっている場合は通し番号とする。

3　学習の記録欄

（1）「観点別」は指導要録における「観点別学習状況」の略記であり，①から⑤までは，次の表に示している各教科ごとの観点を示す。「観点別」には，第５学年及び第６学年の各学年における状況を総合的に評価し，「十分満足できると判断されるもの」について，○印を記入する。

観点が下表によりがたい小学校においては，観点に関する説明資料を別途添付すること。

教　科	①	②	③	④	⑤
国　　語	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
社　　会	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識･理解	
算　　数	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識･理解	
理　　科	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
音　　楽	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	
図画工作	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
家　　庭	家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解	
体　　育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の技能	運動や健康・安全についての知識・理解	

（2）評定欄は，次により記入する。

ア　３段階評定法で記入する。なお，第５学年については，指導要録の学習の記録の評定をそのまま記入する。「計」には，各教科ごとに，第５学年及び第６学年の各学年における評定の合計点を記入し，「総合計」には，各教科の「計」の合計点を記入する。

イ　アに関わらず，第６学年の中途において外国の学校から編入学したことにより，指導要録に第５学年の評定が記載されていない場合，調査書における第５学年の欄は空欄とし，「計」及び「合計」においては，空欄を０とみなして計算した数値を記入する。

また，備考欄に，在籍していた外国の学校名（国名・校名）及び編入学日を記入するとともに，外国の学校に在籍していた期間における成績証明書を調査書に添付すること。

ウ　アに関わらず，特別支援学級又は特別支援学校の小学部の卒業予定者について，各教科等の活動の記録を記述形式で指導要録に記入している場合にあっては，記述形式により，備考欄等を使用して記入する。

4　行動の記録欄には，第６学年の評定を指導要録の記載の方法に基づいて，○印を記入する。

5　欠席欄

（1）「日数」については，指導要録の記載方法に基づいて，第５学年及び第６学年の欠席日数を記入し，「計」には第５学年及び第６学年の総計を記入する。

（2）「主な理由」については，各学年で連続５日以上又は「計」が 20 日以上ある者について，その主な理由（病名等）を記入する。

6　外国語活動の記録欄には，学習状況のうち，特記すべき事項を記入する。

7　総合的な学習の時間の記録欄には，学習活動を記入し，さらに特記すべき事項を記入する。

8　特別活動の記録欄には，特別活動の参加，活動状況のうち，特記すべき事項を記入する。

9　スポーツ・文化・ボランティア活動等の記録欄には，特別活動以外のスポーツ・文化・ボランティア活動等の参加，活動状況のうち，特記すべき事項を記入する。

10　備考欄には，学習の状況，趣味，特技，将来の進路等について特記すべき事項及び受検にあたって，特に配慮すべき事項等で他の欄に記入できないものを記入する。

11　該当事項のない場合は，空欄でよい。